

社会のルールが正しいですか？

どん底を経験したホームレスによる”生きる舞”
路上生活経験者のダンス集団”新人Hソケリッサー！”
彼らの姿を追ったドキュメンタリー

the dancing Homeless

ダンシングホームレス

アオキ 裕キ 横内 真人 伊藤 春夫 小磯 松美 平川 収一郎 渡邊 芳治 西 篤近 山下 幸治

監督・撮影：三浦 涉 編集：前冨 健治 撮影：桜田 仁 音楽：寺尾 紗穂 石川 征樹 平沢 進 ダニエル・クオン
プロデューサー：佐々木 伸之 エグゼクティブ プロデューサー：田嶋 敦
2019 / 日本 / DCP / 99分 ©Tokyo Video Center





INTRODUCTION



路上生活という 経験から生み出される肉体表現

普段その姿を目に止めることもない、路上生活者。彼らは何を思い、生きているのか。本作の主人公「新人Hソケリッサ」は、路上生活者や路上生活経験者だけで構成されたダンスグループ。彼らは実名で登場し、その日常が包み隠さず描かれる。メンバーは家庭内暴力や病気、社会的な挫折を味わい、疎外感に苛まれながらホームレスになった。グループの主宰者は、振付師のアオキ裕キ。あらゆるものを捨ててきたからこそ、唯一残された原始的な身体から人間本来の生命力溢れる踊りが生み出されるのだという。人生からすべてをそぎ落とした彼らは、生きるために舞う。

切なくもユーモラスなこれまでにない ダンス・ドキュメンタリー!

新宿で路上生活をする西。ダンサーを夢見たが、人間関係や借金問題に疲れ、ホームレスになった。一度は死も考えた西が「新人Hソケリッサ」と出会う。そこには同じように、すべてから逃げしてきた小磯、病を抱える横内、父親の暴力に苦悩した平川など、人生の辛酸をなめた仲間がいた。そんな彼らはみな明るく、どこかユーモラスだ。グループには、「人に危害を加えない」以外ルールはない。無断で休んでも構わない。アオキは言う「社会のルールが正しいですか?」。監督は新進気鋭のドキュメンタリスト・三浦涉。自らカメラを持ち、1年以上にわたって密着した。見つめ続けたその先に、想像もつかないラストが待っていた…。東京オリンピック直前のいま、強制的な追い出しや排除アートの居場所を失うホームレスの人権問題がクローズアップされている。一方、五輪開催都市で音楽やアートを通してホームレスと社会をつなぐ世界的な団体が、東京でも準備を始めている。ソケリッサの「生きる舞」は、排除の論理が広がるいまの日本社会に痛烈なメッセージを与える。



CAST

新人Hソケリッサ!

2005年結成。
路上での公演活動を中心に、MVや前衛的なダンスイベントに出演。

主宰者

アオキ 裕キ (50)
チャットモンチーやL'Arc-en-CielのMVやCMなど数多くの振付を手掛ける。2001年NY留学時に9.11に遭遇し、帰国後、ダンスとの向き合い方を見つめ直す。ビッグイシュー協力のもと、路上生活経験者を集め、「新人Hソケリッサ!」を立ち上げる。

一度はダンスの夢をあきらめた

西 篤近 (40)

全てを捨てた70代ダンサー

小磯 松美 (70)

父親の暴力から逃げた

平川 収一郎 (49)

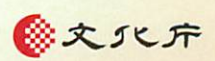
メンニール病を患う

横内 真人 (56)

出演：アオキ 裕キ 横内 真人 伊藤 春夫 小磯 松美 平川 収一郎 渡邊 芳治 西 篤近 山下 幸治

監督・撮影：三浦 涉 編集：前野 健治 撮影：桜田 仁 音楽：寺尾 紗穂 石川 征樹 平沢 進 ダニエル・クワン プロデューサー：佐々木 伸之 エグゼクティブプロデューサー：田嶋 敦 宣伝：菅野 祐治 製作・配給：東京ビデオセンター 2019/日本/DCP/99分 ©Tokyo Video Center

「ダンシングホームレス」公式サイト >> <https://thedancinghomeless.com>



3月7日(土)より **ほか全国順次**
シアター・イメージフォーラムにて公開
特別鑑賞券販売中! 1300円(税込)

[シアター]
イメージフォーラム
03(5766)0114
<http://www.imageforum.co.jp>
全席指定席・オンライン予約あり

JR 渋谷駅
国連大学
聖光学院
大学
スタール
バックス
[シアター]
イメージフォーラム
渋谷駅より8分 宮益坂上り表参道方面一つ目の信号右入る